

オオタバコガ情報第3号（ダイズ、キャベツ、キク等）

令和6年8月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

ほ場での発生状況に注意し、発生を確認したら防除しましょう！

1 発生状況

7月3日発表の令和6年度病害虫発生予察注意報第4号で、フェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺数がやや多いと発表しましたが、引き続き誘殺数が多い地域があります。

フェロモントラップにおける本種の7月第1半旬から7月第5半旬の総誘殺数は、西尾市のダイズほ場では過去10年間と比較して最も多く、稲沢市及び豊川市のキクほ場では過去10年間と比較して3番目に多い状況です（図1）。その他の地域については、概ね平年並です。

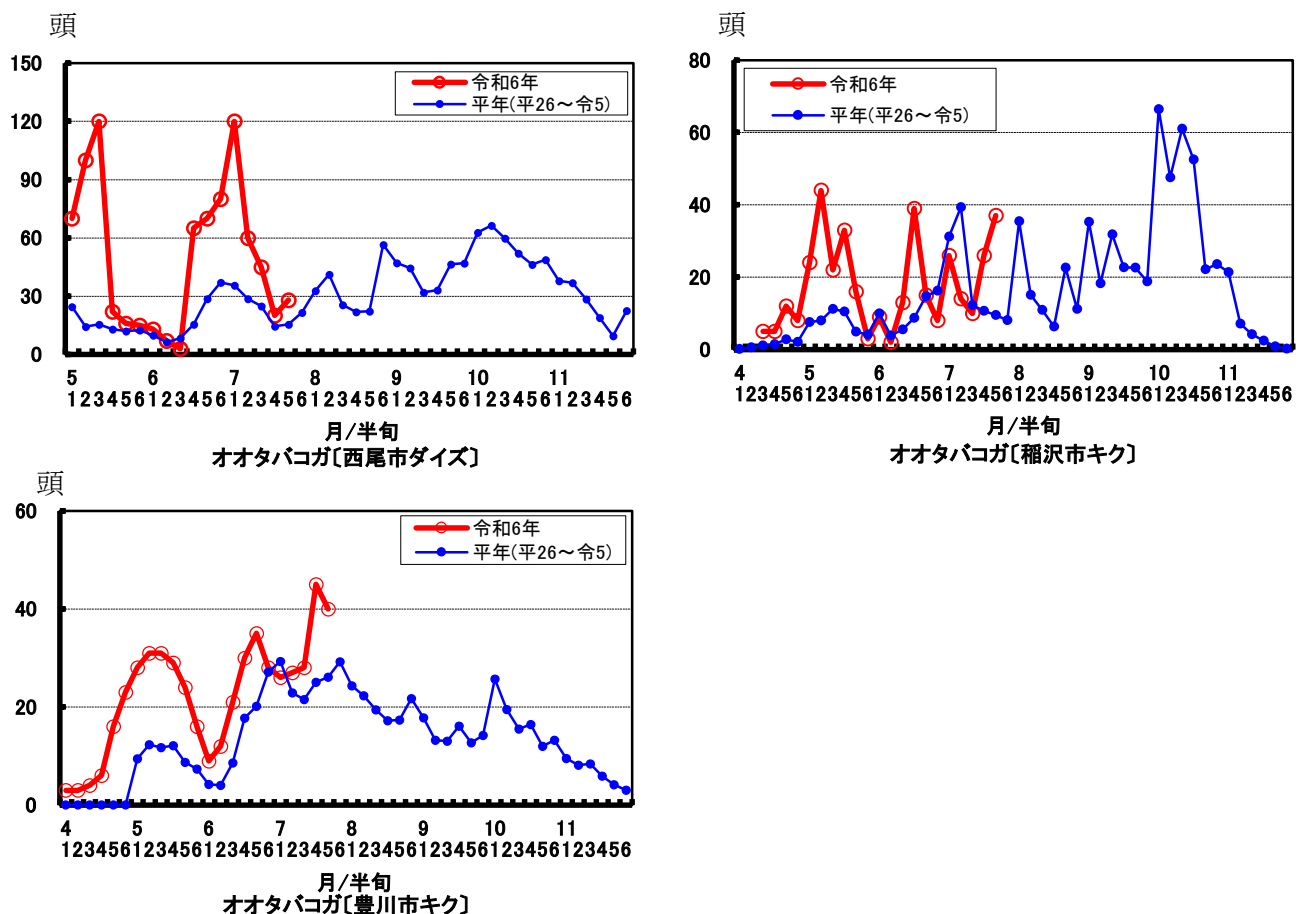


図1 フェロモントラップにおける誘殺状況

2 今後の予測

8月1日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高いと見込まれています。本種の増殖に適する天候が予想されるため、発生量が増加する可能性があります。

3 本種による被害と防除対策

ダイズにおける本種による被害は、ハスモンヨトウのように幼虫が集団で葉を食害せず白変葉にならないため、ほ場外からの観察で発生を確認することは困難です。また、直接、莢を加害する（図2）ことから、被害が大きくなります。**ダイズでは産卵が多い開花期までの防除が重要です。**

茎、花蕾、果実及びキャベツ等の結球部に食入した幼虫や、発育が進んだ幼虫には薬剤の効果が著しく低下するため、若齢幼虫のうちに薬剤防除を徹底しましょう。

キクでは着蕾後に被害を受けると商品価値が著しく低下するため（図3）、**着蕾以降は特に注意しましょう。**

被害部位の残渣は、卵や幼虫が付着している可能性があるため、放置せず適切に処分しましょう。

施設栽培では、開口部に防虫ネットを張り成虫の侵入を防ぎましょう。

表を参考に、発生を確認したら防除しましょう。薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同じIRACコードの薬剤は連用しないようにしましょう。

表 オオタバコガに対する主な防除薬剤（散布）

作物名	農薬名	使用時期	使用回数	IRAC コード
だいず	アタブロン乳剤	収穫 14 日前まで	2 回以内	15
	プレバソフロアブル5	収穫 7 日前まで	2 回以内	28
	プレオフロアブル	収穫 7 日前まで	2 回以内	UN
キャベツ	プレオフロアブル	収穫 7 日前まで	2 回以内	UN
	アクセルフロアブル	収穫前日まで	3 回以内	22B
	ディアナ SC	収穫前日まで	2 回以内	5
きく	ブロフレア SC	発生初期	3 回以内	30
花き類・観葉植物	ヨーバルフロアブル	発生初期	3 回以内	28
	アフーム乳剤	発生初期	5 回以内	6
	プレオフロアブル	発生初期	4 回以内	UN

IRAC コードは殺虫剤の作用機構による分類を示します。

IRAC コードの詳細は、https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/mechanism_irac02.pdfを参照しましょう。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。



図2 ダイズの莢を食害する老齢幼虫



図3 キクの花蕾を加害する幼虫